

第5回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和2年5月27日(水) 9時00分～9時30分

場 所：仙台市役所本庁舎3階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理監、総務局長、新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者、宮城県保健福祉部 梶村次長

- 次 第：1. 開 会
2. 議 事
 (1) 緊急事態宣言の解除について
 (2) 宮城県の対応について
 (3) 本市の対応について
3. 閉 会

議事要旨：

- (1) 緊急事態宣言の解除について
 - ・資料1について危機管理監より説明
- (2) 宮城県の対応について
 - ・資料2について新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長より説明
- (3) 本市の対応について
 - ・資料3について危機管理監より説明

○関係局長より報告

<市民局長>

- ・特別定額給付金について、月曜日（5月25日）から申請書の郵送を開始した。昨日までに、22,592件受付済みである。
- ・8月26日の受付終了までに漏れなく申請いただけるよう、きめ細かく対応していきたい。路上生活者などへの制度周知や手続きのサポートを業務委託にて開始している。
- ・昨日6万7千件の申請書を発送したため、各区の戸籍住民課への問い合わせが増えている。引き続き、全市的なご協力をお願いしたい。

<経済局長>

- ・昨日までに、協力金が5,060件、支援金は5,080件申請があり、合わせて10,140件となっている。22日から順次支給を開始している。申請書に不備があるものについて、電話にて確認を行っている。

<教育長>

- ・市立学校の再開について準備を進めている。休業期間中、児童、生徒の皆さんには自宅等においてがんばっていただいた。学校と教育委員会が連携して、家庭訪問やプリントの活用により学習面の支援も行ってきたところである、先週から臨時登校を開始しているが、感染予防対策にも配慮して再開の準備を行っている。
- ・社会教育施設については、5月19日から一部の施設で利用を再開しており、昨日26日からは、図書館では貸し出しも再開しており、その他の社会教育施設についても、6月1日

以降の再開に向けて準備を進めている。

○市長より総括

- ・今般、全ての都道府県において緊急事態宣言は解除されたが、ウイルスは存在しており、第2波、第3波の恐れもあり、まだまだ予断を許さない状況は変わらない。
- ・今後は、感染防止対策に努めながら、「新しい生活様式」を取り入れ、日常の生活、社会経済活動を段階的に取り戻していくステージとなっていく。
- ・街には人出も戻ってきているが、市民には、気を緩めることなく、改めて3つの密を避ける、手洗いや人と人との距離の確保を行うなどの「新しい生活様式」を日常の暮らしの中に取り入れて、引き続き賢明なご判断と慎重な行動をお願いしていく。事業者には、それぞれの業種ごとのガイドラインに沿った感染予防対策の徹底をお願いしたい。そのための周知にも引き続き取り組んでいく。
- ・本市の主催事業や施設の取り扱いに係るガイドラインについて、国及び県の方針に基づき改訂するが、各所管課においては、感染防止に最大限留意しながら、施設の順次再開に向けて適切に対応すること。
- ・手続きが始まった給付金や、協力金、支援金などの支給、6月1日に迫った学校の再開に向けても、遺漏の無いよう関係部局において万全を期すこと。
- ・新型コロナウイルスへの対応も、外出自粛等の段階的緩和という新たなステージに入っていくが、引き続き気を緩めることなく、感染拡大防止と、社会経済活動の両立に向け、全庁を挙げて全力で取り組んでいくこと。

○宮城県保健福祉部 梶村次長より

- ・段階的に経済活動等を再開していく。引き続き仙台市と連携しながら協力して取り組んでいきたいので、よろしくをお願いしたい。

○市長メッセージ

- ・4月7日に出された国の緊急事態宣言は、一昨日、すべての地域において解除された。本市では3月末から4月中旬にかけ感染者数が増え、一時期は医療体制の逼迫が懸念されたこともあったが、市民及び事業者の積極的かつ献身的な協力によって、4月下旬には感染の拡大を抑え込み、その後は新たな感染者がゼロの状態が続いている。私はゴールデンウィークに入る前、「このゴールデンウィークの間が正念場」として、更なる協力を求めた。ゴールデンウィークが終わって2週間以上が経過しているが、感染が拡大する兆候はない。これまで、献身的に検査や治療に当たってきた医療関係者をはじめ、医療体制を支えてくれた人、様々な要請に応えてきた事業者、市民一人ひとりの協力に心から感謝する。
- ・一方、緊急事態宣言が解除されたことに、ホッとしたという声や、まだまだ不安だという声も聞かれる。私も再三、「気を緩めることなく感染防止に努めなければならない」と申ししてきた。新型コロナウイルスは確実に存在し、今後は、第2波、第3波が到来することも想定して、感染防止と日常生活を両立させていく必要がある。
- ・先日、「新しい生活様式」を「せんだい生活スタイル」として提示したが、一人ひとりのアイデアで新たな日常をより安全・安心に過ごすための様々な工夫ができると思う。自分自身、周りにいる人たち、そして各々にとってかけがえのない人を守るため、市民と共に新たな日常を創っていく。

以上